

4 歳児クラス <9月 ゴッホ「ひまわり」>



やさしいK-ART

テーマ《ゴッホ「ひまわり」ワーク》

ゴッホのひまわりの模写をします。細部までよく見てゴッホの筆使いを表現しましょう。

<テーマを決める>

夏の花というと何？みんなも見たかな？いろいろなところで大きなひまわりを見かけるよね。ひまわりって、みんな同じ黄色い花なのかな？よく見てみると、大きな花、小さな花、黄色やオレンジっぽい花、元気に上を向いている花、少し下を向いている花もあるよ。ゴッホという画家も、ひまわりをよく見て、たくさんの《ひまわり》を描いたんだって。今回は「ひまわりって、どんな色や形をしているんだろう？」ゴッホの《ひまわり》をよく観察しながら、自分たちのひまわりを作ってみよう。

<問いを考える>

「ひまわりって何色かな？」

→「黄色！」

→「本当に全部黄色かな？よく見てみよう」

と、掘り下げる質問をしていくことで、観察を深めていきましょう。

そこから「真ん中は何色？」「花びらは全部同じ形？」「どのひまわりが一番大きい？」

「上を向いている花と下を向いている花があるね。どうしてだと思う？」

「ゴッホは黄色を一色だけ使ったのかな？」など、見る→気づく→もう一度見る”という問いかけをしていきましょう。

<環境をデザインする>

ひまわりの大きさや向き、花びらの形などをじっくり観察し、それぞれの違いに気づけるよう、複数のひまわりのパーツを準備する。複雑な花の形を一から描くのではなく、パーツを用いることで、4歳児でも色や質感の違いを観察し表現することに集中できるようにした。キットパスは黄色だけでなく、オレンジや茶色、緑などを重ね、ベビーパウダーで色どめをしながらぼかすことで、同じ「ひまわり」の中にもさまざまな色があることを発見できるようにする。完成後は、みんなで作品を見比べて、「同じひまわりを作ったのに、みんな違うね」という気づきにつなげていく。

1. フレーム
2. パーツ2種類
3. ひまわりプリント
4. キットパス
5. ベビーパウダー
6. スティック糊



4歳児クラス＜9月 ゴッホ「ひまわり」＞実施報告



9/18【アンジェリカ保育園 芝浦園】年中：2名《ゴッホ「ひまわり」》

見本を見て「わかるよ！ひまわりでしょ！」と得意気。ひまわりの作者はゴッホだと伝えると「ゴッホ、ゴッホ」と口に出していました。「花びらがあるひまわりと、花びらがないひまわりがあるね。ひまわりの真ん中には何があるんだろう？」と問うと「種！」としっかり答えてくれました。

制作では、緑系のキットパスを使い花瓶を塗りました。黄緑の上に黄色が塗ってあることに気付き、上から重ねて塗ることができました。花びらを塗る際には「外側に向かって塗るよ」と説明したことをしっかり聞き、外に向かって元気な花びらを表現することができました。タネの部分は複数の色を使って点を打って表現しました。「できた！」と見せてくれた時に「まだまだタネ描けそうだねえ」と声をかけると、見本を見てまだタネが描ける事に気付き、どんどんとタネを増やしていきました。

粘り強く最後まで手を動かし、完成！フレームに入った自分の作品を見て嬉しそう。素敵な笑顔が見れました。「お母さんがひまわり好きだから、お母さんにプレゼントするんだ！」「私の家族はお父さんがひまわり好きだから、お父さんにあげる！」などの会話も聞こえてきました。